



**Exhibition** | 日時:12月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日) 13:00 - 17:00

### Exhibition NEKOZE vol.04

#### 榎本浩子 個展

群馬県を拠点に活動する榎本浩子さんの展覧会を開催します。榎本さんは家族や日々の暮らしを題材に、ドローイングやテキスト、絵画、写真などを用いて展示空間を構成するアーティスト。近年では精神的・身体的な修復・ケアに関心を寄せ、植物や蜜蝋など治癒に用いられる素材も展示に取り入れています。

本展では、これまでに榎本さんが国内各地で制作した作品を展示します。また、約2週間の別府での滞在を経て制作したドローイングなども展示予定です。よくよく考えると別府に豊富にある温泉も昔からさまざまな形で人々をケアしてきました。別府での滞在を経て生まれた展覧会をぜひご覧ください。

滞在期間:11月17日から12月13日まで



「クリテリウム99 榎本浩子」水戸芸術館現代美術ギャラリー、2022年 撮影:天野裕子



榎本浩子 | ENOMOTO Hiroko

群馬県生まれ、現在同地を拠点に活動。2011年女子美術大学大学院美術研究科修了。他者とのつながりや日々の出来事を題材に、弱さや傷つきやすさとその修復をテーマに制作や活動を行なっている。主な活動歴に「クリテリウム99 榎本浩子」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城、2022)、「この庭」(ゆいぽーと、新潟、2022)、「たゆたまりに小石をひとつ」(アキバタマピ21、東京、2022) がある。

#### 作品展示 鈴木貴徳、森本凌司

現代社会の構造、美術の歴史的構造、個人的経験を重ね合わせ、世界や芸術の再解釈を試みる鈴木貴徳さん。「縫う」行為により、時空を超えて他者や世界との関係性を紡ぐ森本凌司さん。大分を拠点に活動する両者が、ねこぜ内に作品を展示します。



《The Missing canvas project》2020



鈴木貴徳 | SUZUKI Takanori

1983年神奈川生まれ、大分在住。限界芸術的手法を用いて純粹芸術と向き合う。2022年オランダ国立芸術アカデミー(ライクスアカデミー)修了。代表作は、自身が移住した古民家に残された故人の生活痕をきっかけにその元家主を弔う映像インスタレーション「最も遠くの人へ」(2017)や、オランダ滞在中、コロナ禍だった際に屋外のフェンスに設置した無垢の巨大キャンバスが盗まれたことがきっかけで生まれたプロジェクト「ミッシングキャンバスプロジェクト」(オランダ、2020)、「EICAS美術館のこけら落としで自身初の個展『Work in progress』」(オランダ、2022) などがある。



森本凌司 | MORIMOTO Ryoji

1994年高知県生まれ。シンプルなおこなっている。これまで触れあってきたもの、身近なものをテーマに作品を作る。いつも身体に触れている糸や布を素材に使う。縫う、編むなど、物理的で、時間の経過を感じられるものを好む。主な展覧会に「向こうに、さす」(Art & Garden ねこぜ、大分、2023)、「3331」によって、アートは「I」に変化した」(アーツ千代田3331、東京、2023)、「現実47」(大分県立美術館、大分、2022)、「In:Site Festival Revisited 2021」(パーミンガム大聖堂前広場、イギリス、2021) など。3331 ART FAIR 2022 小池一子賞受賞。

**Talk** | 要予約 | 定員:15名 / 料金:1ドリンクオーダー | 日時:12月9日(土) 18:00 - 19:30

#### 作家がみた別府 vol.12 Yukawa-Nakayasu

2020年から継続的に国内外の作家を招いてトークイベントなどをおこなっている、アーティスト・飯島剛哉さんと西松秀祐さんのユニット『作家がみた別府』。今回は、SUPER NEKOZEにあわせ、アーティストであり、アートハブ『TRA-TRAVEL』共同代表も務めるYukawa-Nakayasuさんをゲストに開催。アーティストとしての土地への向き合い方や、『TRA-TRAVEL』で実践している国内外ネットワーク形成とその活かし方などをお聞きしたいと思います。

ゲスト:Yukawa-Nakayasu (ユカワナカヤス)  
進行:西松秀祐 (アーティスト、作家がみた別府)、家入健生 (Art & Garden ねこぜ)



Yukawa-Nakayasu

1981年大阪生まれ。「歴史や習俗や習慣に内在する人々の営み」を現代へと再解釈 / 再文脈化する事を通して、現在に起きている言語化できない現象や問題を視覚化する芸術活動を国内外で行っている。また2019年からアートハブ TRA-TRAVELを立ち上げ、2020年『ポストLCC時代の』展(京都芸術センター)などのアートプロジェクトをプロデュースする。(http://yukawanakayasu.net/, https://tra-travel.art/)

**Screening & Talk** | 日時:12月2日(土) 17:30 - 19:00

#### 監督・出演 吉開菜央 (ダンサー) × 撮影 石川直樹 (写真家) Shari 上映会&トーク

映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。映画監督・吉開菜央による作品『Shari』を上映。

#### Shari

知床半島・斜里町に、ふいに現れた「赤いやつ」。そいつは、その土地に生きる人々の家を訪ねてある。ここにしかない、日常が愛おしくなるその暮らし。シャリシャリシャリ。会って、彼らの声をきく。「今年は雪が全然降らない。」「流水も、なかなか来ない。」なにかおかしい。最果ての地、知床で、赤いやつは世界の異変を感じる。わたしのせいなのか……。



photo by Naaki Ishikawa



吉開菜央 | YOSHIGAI Nao

1987年生まれ。映画作家・振付家・ダンサー。日本女子体育大学卒業、東京藝術大学大学院映像研究科修了。観ること、聴くことによって得られる感覚・情動を軸に、映画そのものを踊らせるつもりで映画を制作している。主な監督作に『Shari』(ロッテルダム国際映画祭2022公式選出)、『Grand Bouquet』(カンヌ国際映画祭監督週間2019正式招待)、『ほったまるびより』(文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞受賞) など。

**Workshop** | 要予約 | 各定員:6名 / 料金:1,000円 (材料代、1ドリンク付き)

「ZINEって何?」体験ワークショップ | 日時:12月3日(日) 14:00 - 16:00

「自主的に、気軽に、小さな規模で」出版物をつくるZINEカルチャー。岡山にコワーキング&ZINEスタジオ「宇野港編集室」を準備中の橋本誠が、その基礎知識を紹介し、制作体験ワークショップをおこないます。  
※ZINE付き



講師: 橋本 誠 (合同会社 生活と表現)

美術館・ギャラリーだけではなく場で生まれる文化・芸術活動を推進する企画・編集者。東京アートポイント計画(現・アーツカウンスル東京)、2021年秋田駅前で開催した秋田市文化創造館の立ち上げに携わるなど、多様化する芸術文化・アートプロジェクトと現代社会をつなぐ活動を行う。編者に「危機の時代を生き延びるアートプロジェクト」(千十一編集室、2021)、「一般社団法人ノマドプロダクション 代表(2014年~)、合同会社生活と表現 代表(2023年~)。

「色々つくって、いろいろ話そ! - Rasa Berwarna, Ragam Cerita」 | 日時:12月9日(土) 14:00 - 17:00

インドネシア・ジャカルタと北九州を拠点に活動するアーティスト・田中奈津子さんによるワークショップ。インドネシア料理を、いろんなことを話しながら参加者全員で作る、最後は食べます。みんなで協力して他国の料理を作り、そこから生まれる会話を楽しみましょう。



講師: 田中 奈津子 (美術家)

1981年北九州市生まれ。2007年京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻修了。在学中より関西を中心にギャラリーや美術館等で毎年展覧会に参加。2020年、インドネシアへ移住。北九州とジャカルタを往復しながら展覧会、ワークショップを実施するほか、インドネシアのコレクティブやアーティスト等と協働したプロジェクトも行う。二カ国間で起こる社会的・文化的摩擦、感覚の変化等あらゆる事象を受け止め、それらの交錯する場所で出来る絵画制作について考えている。

蜜蝋クリームづくりワークショップ | 日時:12月10日(日) 14:00 - 15:00

個展を開催する榎本浩子さんによる、蜜蝋クリームを作るワークショップを最終日に開催します。展示にも使われる蜜蝋は榎本さんの作品を構成する上で大事なものの1つ。榎本さんと一緒に蜜蝋で作られた作品を鑑賞し、アロマの種類や効能の話を知りつつ、それぞれ好きな香りの蜜蝋クリームを作ります。作ったものは持ち帰れます。好きな香りの精油があったら持ってきてください。



撮影:天野裕子

講師: 榎本浩子

